

令和3年度 事業報告書

 社会福祉法人鯨ヶ沢町社会福祉協議会

< 目 次 >

目 次	1
本会の組織	2
会務の運営	3～4
地域福祉の推進	5～10
町委託・補助事業	11～18
介護保険事業	19～22
障害者支援事業	23～24
在宅福祉事業	25～33
総合保健福祉センター管理 経営/西津軽郡社会福祉協議会	34～37

<本会の組織> (令和4年3月31日現在)

理事・監事

任期：令和4年度会計に関する定時評議員会の終結の時まで

【役員】	12名				
会長	平田 衛	副会長	奈良 正樹		
常務理事	齋藤 博				
理事	一戸とも子	井上 雅哉	川野 良一		
	金崎ゆき子	神 直美	豊沢 豊彦		
	成田 勝義				
監事	増田 晶夫	長谷川 桂子			

評議員

任期：令和6年度会計に関する定時評議員会の終結の時まで

【評議員】	15名						
生田 光子	一戸 忠志	石岡 幸男	井上 信則				
工藤 律子	佐藤 正幸	佐藤 洋輔	須藤 正				
埴見 公平	傳法 忠徳	神 広丈	小笠原 忠				
菊谷 忠光	吉田 諭大	大澤 雅子					

【事務局長】

井上 雅哉 (地域福祉・在宅福祉課長事務取扱)

【総務課】 2名

齋藤 誠 (課長兼法人係長事務取扱) 三浦 美由紀 (経理係長)

主な業務：法人会務・財務会計・共同募金委員会など

【地域福祉課】 10名

世永 千晴 (課長補佐) 高木 芙美子 神 幸 森山 成美 石岡さつき 橘 彩

長谷川 愛 今 雅之 鈴木 孝俊 岩谷せつ子

主な業務：権利擁護センター事業・支部事業・福祉安心電話・委託事業・たすけあい資金
生活福祉資金貸付事業・生き生きわーくセンター事業など

【在宅福祉課】 7名 主な業務：介護保険事業

・在宅福祉係 (通所介護)

葛西 真紀 世永 美月 豊澤 千秋 太田きよえ 對馬 貴子 今 千恵

・居宅介護支援係

澁谷 吏

「理事会開催状況」 全5回

回数	開催月日	案件内容	結果
135	令和3年6月1日(火) 総数10名 出席8名	1. 評議員選任規程改正(案)について	原案どおり決議
136	令和3年6月11日(金) 総数10名 出席9名	1. 令和2年度事業報告及び決算報告について 2. 新規事業について 3. 令和3年度第1次補正予算(案)について 4. 役員候補者の推薦について 5. 評議員候補者の推薦について 6. 評議員選任・解任委員会開催について 7. 令和3年度定時評議員会開催について	原案どおり決議
137	令和3年6月29日(火) 総数10名 出席10名	1. 会長・副会長及び常務理事の選定について 2. 評議員選任・解任委員の選任について	原案どおり決議
138	令和3年12月17日(金) 総数10名 出席10名	1. 退職金規程改正(案)について 2. 令和3年度第2次補正予算(案)について 3. 令和3年度第2回評議員会開催について	原案どおり決議
139	令和4年3月14日(月) 総数10名 出席9名	1. 令和3年度第3次補正予算(案)について 2. 給与規程改正(案)について 3. 契約職員給与規程改正(案)について 4. 職員の初任給、昇給、昇格等の基準改正(案)について 5. 令和4年度事業計画(案)及び収支予算(案)について 6. 令和3年度第3回評議員会開催について	原案どおり決議 

「評議員会開催状況」 全3回

回数	開催月日	案件内容	結果
88	令和3年6月29日(火) 総数14名 出席11名	1. 令和2年度事業報告及び決算報告について 2. 令和3年度新規事業(案)について 3. 令和3年度第1次補正予算(案)について 4. 役員を選任について	原案どおり決議 
89	令和3年12月24日(金) 総数15名 出席15名	1. 令和3年第2次補正予算(案)について	原案どおり決議
90	令和4年3月23日(水) 総数15名 出席14名	1. 令和3年度第3次補正予算(案)について 2. 令和4年度事業計画(案)及び収支予算(案)について	原案どおり決議

「監査会開催状況」

開催月日	開催場所	結果
令和3年5月14日(金)	鰯ヶ沢町保健福祉センター会議室	令和2年度分について適正な運営と認める

「定期会議監査会開催状況」 ※四半期ごとに各事業の実施状況や経理の執行状況について報告しました。

開催月日	開催場所	対象月
令和3年7月30日(金)	鰯ヶ沢町保健福祉センター会議室	4月～6月
令和3年10月28日(木)	鰯ヶ沢町保健福祉センター会議室	7月～9月
令和4年2月4日(金)	鰯ヶ沢町保健福祉センター会議室	10月～12月

「評議員選任・解任委員会開催状況」

開催月日	開催場所	結果
令和3年6月18日(金)	鰯ヶ沢町保健福祉センター会議室	評議員15名を選任

《地域福祉の推進》

地域福祉活動への参加の促進をはかり、住民の主体的活動の充実や高齢者などの活躍の場など地域の実情に沿った地域支援に取り組みました。





◆小地域福祉活動事業

社協会費、赤い羽根共同募金、地域歳末たすけあい募金の配分金をもとに、地域の実情に沿った福祉活動に伴う活動費を支援しました。

○社協会費と募金等の実績○

(単位：円)

	社協会費 (500円)	赤い羽根 (学校・県共済)	地域歳末
R1年	1,630,000	1,822,246	1,106,950
R2年	1,615,500	1,487,674	1,094,050
R3年	1,580,500	1,585,456	1,057,531

◆社協会費地区別実績◆

	鱒ヶ沢	舞戸	鳴沢	中村	赤石	南金沢
世帯数	786世帯 (△5)	986世帯 (△23)	475世帯 (△4)	377世帯 (△13)	303世帯 (+3)	309世帯 (△4)
金額	371,500	483,500	232,000	187,500	151,500	154,500
備考	町内会によっては定額の所もあり、世帯数と金額にズレは生じます。					

(単位：円)

○外出支援バスの運行 (全3回)

町内に住む高齢者の外出機会の提供及び買い物の移動手段を持たない方に対し福祉バスを利用した買い物支援を実施しました。

①高齢者外出支援バス～鱒ヶ沢町役場新庁舎見学ツアー～

令和3年5月17日(月)～令和3年7月12日(月) ※各町内2回運行

参加者延べ人数：19名

(鱒ヶ沢地区7名、舞戸地区1名、赤石地区5名、中村地区4名、鳴沢地区2名)

対象者：本会で把握する75歳以上の高齢者



②高齢者外出支援バス～あかいし溪流の紅葉散歩と買い物バスツアー～

令和3年10月27日(水)～令和3年11月3日(水)

参加者延べ人数：35名

(鱒ヶ沢地区17名、舞戸地区7名、赤石地区6名、中村地区5名)

対象者：町内に居住する65歳以上の高齢者

③賀・新春お買い物バス

令和4年1月10日(月)～令和4年1月14日(金)

参加者延べ人数：9名

(鱒ヶ沢地区2名、赤石地区2名、中村地区3名、南金沢地区2名)

対象者：町内に居住する65歳以上の高齢者

今後の課題：対象者を限定したこと、周知方法に課題があったことから参加人数が増加しなかった。

◆小地域福祉活動事業

◆支部協力員数 ※（ ）内は、前年度の比較

合計212名（△13名） 3月31日

鱒ヶ沢支部	舞戸支部	鳴沢支部	中村支部	赤石支部	南金沢支部
50名 (△6名)	32名 (△4名)	30名 (0名)	49名 (0名)	23名 (△3名)	28名 (0名)

※令和3年4月23日の6支部合同会議において、「支部役員」から「支部協力員」に名称が変更となりました。

○ふれあい訪問（6支部合同で実施）

＜財源＞社協会費・共同募金（歳末）

※今年度より社協支部協力員身分証明書を作成し訪問時携帯してもらいました。

6月：ふれあい訪問（箱ティッシュ1箱、高齢者外出支援バスチラシ～新庁舎見学ツアー～）

8月：ふれあい訪問（食器洗剤1本、スポンジ1個）

※鱒ヶ沢地区、舞戸地区の一部地域では、警察官も同行して高齢者の見守り活動を実施しました。

10月：ふれあい訪問（高齢者外出支援バスチラシ～あかいし溪流の紅葉散歩と買い物バスツアー～）

12月：おせち料理配食（鍋焼きうどん2食、にしん巻き2本、金時豆1袋、カップおしるこ2個）



【支部協力員からの相談・連絡により支援につながった件数】

- ・舞戸地区：1件⇒病院受診後、入院となる。
- ・赤石地区：1件⇒介護サービスの利用が開始となる。

○地域をきれいにする活動

鱒ヶ沢支部、赤石支部で花壇整備を実施。赤石支部は陸奥赤石駅構内の花壇整備を実施しており、JR東日本様より感謝状の贈呈を受けました。



○ふれあい交流会について

学校側の課外活動の自粛もあり、小学校との交流会は実施できませんでした。

◆ボランティア推進校事業 3校（小学校2校・中学校1校）

<財源> 共同募金（一般募金）

町内小中高等学校の児童生徒へのボランティア活動の実践と社会福祉への関心や理解を深めるとともに地域社会への福祉啓発を図ることを目的に各校へ募集したところ3校より応募があり、ボランティア推進校へ指定しました。（※鱒ヶ沢高等学校は申請なし）

新型コロナウイルス感染症の影響で交流活動の中止など事業内容は縮小しておりますが、ボランティア関連の委員会が中心となり、工夫を凝らしながら実施しています。

学校名	生徒数	申請額	交付額	活動内容
舞戸小学校	213名	60,000円	60,000円	ボランティア委員会活動（募金活動、空き缶・古紙・プルタブの回収、花壇整備、ベルマーク回収）、海岸・海浜漂着ゴミ清掃活動、町内福祉施設へ版画カレンダーの贈呈、ふくし作文・絵コンクールへの応募
西海小学校	77名	60,000円	60,000円	JRC委員会活動（募金活動、空き缶・古紙・プルタブの回収）、花いっぱいになあれ運動（花壇整備）、敬老の日絵手紙・新年絵手紙交流、ふくし作文・絵コンクールへの応募
鱒ヶ沢中学校	176名	60,000円	60,000円	JRC委員会活動（募金活動、古紙回収）、ふくし作文・絵コンクールへの応募



◆社協だより「ふれあい」発行事業（情報提供・発信の充実）

＜財源＞共同募金（一般募金・歳末募金）・社協会費

 <http://ajisyakyo.justhpbs.jp>

福祉サービスに関する適切な情報が得られるよう、情報提供の充実を図りました。

○社協だより「ふれあい」発行

社協の役割や事業など福祉啓発の推進を図るため、年3回（6月・10月・2月）発行しました。

OSNSの活用

ホームページ・Facebook・Instagramを随時更新し、最新の情報を提供するほか社会福祉法に基づき法人運営に関連する情報開示を行いました。



◆鯉ヶ沢町地域福祉推進大会

令和3年度も前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し中止となりましたが、福祉功労者等の顕彰と「ふくし作文・絵コンクール」に伴う表彰審査会で会長表彰者とコンクールの最優秀賞等が決まりました。

○令和3年度 鯉ヶ沢町社会福祉協議会会長表彰者（11名）※敬称略、順不同

村上 睦子 木村 幸子 長尾 文子 工藤 八重 水口 優子 豊沢 豊彦 寺沢 和子 石岡 幹枝
奈良 修子 佐藤 明子 森山 成美

○ふくし作文コンクール○（応募総数：47作品）

【小学生低学年の部】

最優秀賞：千田 仁之亮（ちだ じんのすけ）	舞戸小3年
優秀賞：神 陽 莉（じん ひまり）	舞戸小3年
佳作：佐藤 未希都（さとう みきと）	舞戸小3年

【小学生高学年の部】

最優秀賞：大高 凜桜（おおたか りお）	舞戸小4年
優秀賞：千葉 吉誠（ちば いっせい）	西海小5年
佳作：世永 千尋（よなが ちひろ）	西海小5年

【中学生の部】

最優秀賞：島川 万奈（しまかわ まな）	鯉ヶ沢中1年
優秀賞：井上 花音（いのうえ かのん）	鯉ヶ沢中3年
佳作：島川 侑大（しまかわ ゆうだい）	鯉ヶ沢中3年

○ふくし絵コンクール○（応募総数：19作品）

【小学生低学年の部】

最優秀賞：野呂 由奈（のろ ゆな）	舞戸小3年
優秀賞：神 心菜（じん ここな）	舞戸小3年
佳作：神 季心（じん りこ）	西海小2年

◀最優秀作品▶

野呂由奈さん「おじいちゃんにかたたたき」



○生き生きわーくセンター事業 (令和3年度新規事業)

高齢者の生きがいの充実、活躍の場の提供及び長期のひきこもり者に対する就労訓練の場として令和3年7月に生き生きわーくセンターを立ち上げました。立ち上げ当初は5名だった会員も18名となっています。作業については、地域住民や公的機関（町役場、観光協会）からも依頼を請け負い実施しました。

<会員説明会>

令和3年6月30日（水） 10時00分～ 鱈ヶ沢町総合保健福祉センターにて
 生き生きわーくセンターの立ち上げの目的、就業時の注意点や工賃の支払い方法などについて説明会を行い、13名参加し5名が会員登録をしました。



<意見交換会や研修会を開催>

事業運営に会員の意見を反映させるため、会員の交流の場としての意見交換会や会員の技術向上のための研修会を開催しました。

- ・令和3年 7月 11日（日） 刈払機安全衛生講習会（外部講師） 4名
- ・令和3年10月 15日（金） 会員意見交換会
- ・令和3年10月 21日（木） 剪定研修会（外部講師） 10名
- ・令和4年 1月 14日（金） 会員研修会 町保健師を招き「健康管理」について聴講



○依頼件数（一般：草刈り、粗大ごみ処分、窓ふき等）

月別	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	5件	9件	5件	1件	6件	7件	10件	12件	6件	61件

- <収入>
- ①地域住民（一般） 767,796円
 - ②鱈ヶ沢町観光協会（深谷の栗拾い、処分） 436,381円
 - ③鱈ヶ沢町委託（環境整備：草刈り、除雪） 700,000円



合計：1,904,177円

《町委託・補助事業》

◆福祉事務所未設置町村による相談事業 (町委託事業 委託料：5,000,000円)

12

(重層的支援体制整備事業の相談事業の1つとして実施しました)

福祉事務所を設置していない町村において、生活困窮者及び生活困窮者の家族その他の関係者からの相談に応じ、必要な情報の提供及び助言、県との連絡調整、自立相談支援事業の利用勧奨その他の必要な援助等を行うことにより、生活困窮者に身近な行政機関における支援体制の構築に取り組みました。

【相談支援など】 相談支援（多機関協働事業で対応したケース）：7件
通常相談（単独の問題で通常通り対応したケース）：11件

相談の概要	課題に対する支援内容
収入は一定程度あるが生活が苦しい 6件	<ul style="list-style-type: none"> ・債務整理等の相談で法テラス利用を提案 2件 ・家族に支援を相談 2件 ・滞納分を分納するよう助言 1件 ・家計改善支援（生活困窮者自立支援事業）利用を提案 1件
新型コロナウイルス感染症の影響による収入減少 5件	<ul style="list-style-type: none"> ・家族に支援を相談 2件 ・生活福祉資金貸付を提案 2件 ・事業復活支援金申請を提案 1件

○生活福祉資金特例貸付相談ケース 8件

相談件数	理由
緊急小口貸付 7件 総合福祉資金貸付 1件	新型コロナウイルス感染症の影響により仕事依頼が減少し収入減少、 新型コロナウイルス感染症の影響により勤務先が休業となり収入減少等
申込辞退 2件	新型コロナウイルス感染症の影響により廃業、失職したが新たに就職したため

※貸付決定者へ貸付後も引き続き生活状況が好転しなかった場合は、本会へ相談するよう電話での助言を行いました。

(2) 県との連絡調整・支援のサポート

生活困窮者自立支援事業西北窓口と支援に関わる連携方法等を確認。各関係機関との情報共有や情報提供をする事で、速やかに緊密な連携に努めました。

- ①会議等への出席 令和3年5月19日(水) 青森県社協(県委託先)担当者との打合せ
- ②支援のサポート体制 対象者について生活困窮者自立支援事業西北窓口担当者と密に情報共有し合い現況の把握に努めました。

◆「アウトリーチ等を通じた継続的支援事業」

(重層的支援体制整備事業の相談事業の1つとして実施しました)

長期のひきこもり状態にある方や複合的な問題を抱えながらも自ら支援に繋がることが難しい方等に対し必要な支援を届けるため地域住民、ライフライン業者などと共に地域住民の繋がりの中から支援が必要な対象者を把握するために、座談会等を実施しました。また、窓口で対面が難しい方(人と会うことに不安を抱える方など事情を抱える方)の相談の場として本会公式LINEを開設しSNSをかつようして相談体制を充実させました。

相談件数	2件	内訳	LINEからの相談(1件) 支部協力員からの連絡(1件)
------	----	----	------------------------------

①地域座談会

支援対象者や見守りが必要な人を把握するため、モデル地区である舞戸地区(新田町、館、宮浜)を対象に町総務課防災班と協働で見守りと防災をテーマとした座談会を実施しました。

令和3年8月27日(金) 18時00分～19時30分 参加人数:新田町(9名)、館(8名)、宮浜(4名)
(全3回の予定でしたがコロナ感染対策により1回のみ開催となりました)

②地域懇談会

地域住民が安心して生活できるよう地域全体で見守る体制づくりのため6地区で懇談会を開催。

・鰯ヶ沢地区	: 令和3年11月24日(水)	中央公民館	16時～17時30分	参加人数: 31名
・舞戸地区	: 令和3年11月22日(月)	舞戸公民館	18時～19時30分	参加人数: 27名
・中村地区	: 令和3年11月26日(金)	中村公民館	18時～19時30分	参加人数: 27名
・鳴沢地区	: 令和3年11月25日(木)	鳴沢公民館	18時30分～20時	参加人数: 21名
・赤石地区	: 令和3年11月23日(火)	赤石公民館	10時～11時30分	参加人数: 13名
・南金沢地区	: 令和3年11月29日(月)	種里地区農村集会所	18時～19時30分	参加人数: 14名

☆今後の課題: 個人情報の取り扱いなどに関する問題により支援は進んでいない。

③研修会

ひきこもり分野における知識向上を図り今後の支援に活かすために、ひきこもり当事者や当事者家族に対する支援方法、鰯ヶ沢町が抱える課題について理解することを目的に開催しました。

Zoomでのオンライン開催(鰯ヶ沢町総合保健福祉センター)

参集範囲: 包括的相談支援事業担当者、就労継続支援B型事業所REPLEYほか
令和4年3月24日(木) 13時30分～15時40分 参加人数: 9名



○重層的支援体制整備事業への移行準備支援事業

【多機関協働事業】

(町委託事業：委託料15,828,915円)

相談支援、参加支援、地域づくりを一体的に行い、複合的・複雑化した課題を抱える住民に対し、包括的な相談支援が行われるような体制を整備することを目的としています。

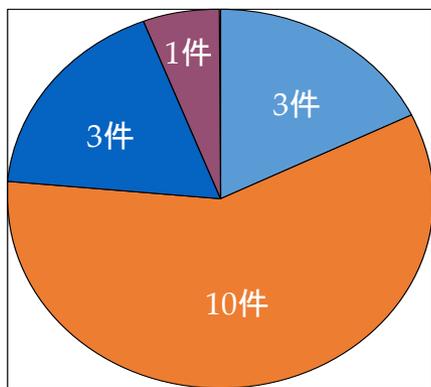
相談受付件数：27件（前年度継続10件、新規受付17件うち相談受付のみ4件）

支援プラン策定件数：23件（現在継続支援中7件、終結16件）

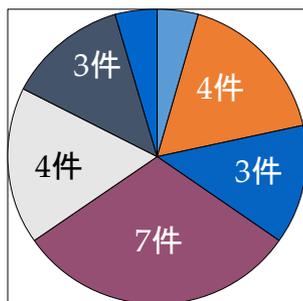
【主な相談概要】※1ケースにつき複数の選択あり

病気や健康、障がいについて（20件）、収入・生活費について（14件）、債務について（10件）、住まいについて（10件）
権利擁護について（3件）

「相談経路」

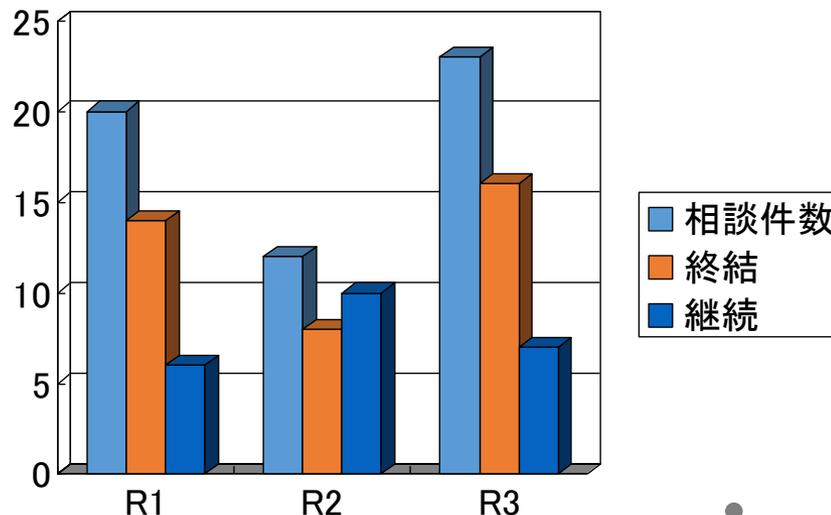


「相談年代」



「相談件数」

	支援件数	終結	継続
令和元年度	20件	14件	6件
令和2年度	12件	8件	10件
令和3年度	23件	16件	7件



経路	件数	内訳
本人	3件	
関係先	10件	福祉事務所未設置事業6件・権利擁護センター2件 自立相談窓口1件・居宅介護支援専門員1件
行政	3件	障がい関係部署2件 ・ 高齢関係部署1件
地域住民	1件	社協支部協力員

※約76%は行政及び関係先からの相談受付

◆参加支援事業

長期離職者や引きこもりにある方を対象に、就労訓練や社会参加の場として生き生きワークセンターにつなげました。

支援プラン作成件数	3件
-----------	----

1件	アウトリーチ等を通じた継続的支援事業から多機関協働事業につながり支援しました。
2件	広報ふれあいを通じて、多機関協働事業につながり支援しました。

【今後の課題】

生き生きワークセンターだけでなく、一般就労の場の確保に向けた事業展開が必要となるため一般企業への理解と周知を展開していきます。

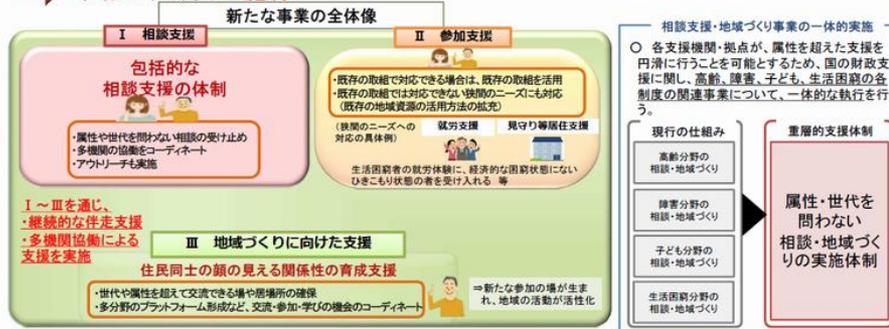
重層的支援体制整備支援事業(社会福祉法第106条の4)の概要

- 地域住民が抱える課題が複雑化・複合化(※)する中、従来の支援体制では課題がある。(※)一つの世帯に複数の課題が存在している状態(6050世帯や、介護と育児のダブルケアなど)、世帯全体が孤立している状態(こみ屋敷など)
 - ▼属性別の支援体制では、複合課題や狭間のニーズへの対応が困難。
 - ▼属性を超えた相談窓口の設置等の動きがあるが、各制度の国庫補助金等の目的外流用を避けるための経費按分に係る事務負担が大きい。
- このため、属性を問わない包括的な支援体制の構築を、市町村が、創意工夫をもって円滑に実施できる仕組みとすることが必要。

社会福祉法に基づく新たな事業(「重層的支援体制整備事業」社会福祉法第106条の4)の創設

- 市町村において、既存の相談支援等の取組を活かしつつ、地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制を構築するため、I相談支援、II参加支援、III地域づくりに向けた支援を一体的に実施する事業を創設する。
- 新たな事業は実施を希望する市町村の手あげに基づく任意事業。ただし、事業実施の際には、I～IIIの支援は必須
- 新たな事業を実施する市町村に対して、相談・地域づくり関連事業に係る補助等について一体的に執行できるよう、交付金を交付する。

→ 令和3年4月1日施行



●重層的支援体制整備事業

1.断らない相談支援

■包括的相談支援事業

(アウトリーチ等を通じた継続的支援事業)
(多機関協働事業・支援プランの作成)

2.参加支援

■参加支援事業

3.地域づくり

■地域づくり事業

■地域づくり事業

◆生活支援・介護予防サービスの基盤整備事業

(委託料：7,500,000円)

生活支援コーディネーターを2名配置し、生きがい・介護予防につながるよう、更には地域住民同士のつながりを深めることができるように、事業を実施しました。

◎生活支援・介護予防サービスのコーディネート等に関する業務

○ふれあいの場の立ち上げに関する相談、申請等の支援

・前年度活動していた団体から「ふれあいの場」へ移行して、令和3年度は1ヶ所開設しました。

①南（みーんな）達者会（南浮田）南浮田農業センター 開設年月 令和3年10月

・閉じこもり防止、高齢者の健康・生きがいづくりができる居場所として各町内への開設を目指しているため、ふれあいの場を広報などで周知することが必要と考え、10月号の社協広報誌に17ヶ所のふれあいの場紹介と開設の促しを記事として掲載しました。



○高齢者ふれあいの場を定着・継続させるための支援

訪問する際、楽しみながらできる輪投げやスカットボールを持参しました。また、介護予防を目的に健康管理ができる体組成計を購入し、月1回訪問時に持参し数値を記録することで体操の効果を知る機会を図りました。



○研修会及び会議への出席

個別ケースの支援内容の検討を通じて、地域の課題を把握して地域における社会資源の調整や新たなサービスの構築を検討するために会議に出席しました。

令和3年5月19日（水）	地域ケア会議	鯉ヶ沢町役場	中会議室1
令和3年6月16日（水）	地域ケア推進会議	鯉ヶ沢町役場	中会議室1
令和3年7月21日（水）	地域ケア会議	鯉ヶ沢町役場	中会議室1
令和3年7月29日（木）	Zoomによるライブ配信「生活支援コーディネーター情報交換会」		

◆福祉安心電話サービス事業（緊急通報体制整備事業）

(委託料：1,524,000円)

17

365日、24時間体制の福祉安心電話の設置により、体調の急変時や相談への対応と福祉安心電話協力員などによる見守り活動を実施しました。

・新規設置 7台 (+ 1台)

理由：一人が不安 緊急時の備えなど

・退会（取り外し） 6台

(死亡2名・入所4名)

・設置台数（合計） 52台 (+ 1台)・協力員数：145人 (△9名)

<内訳>

民生委員・町内会長・近隣の知人・
身内（兄弟・子供）など

実施状況

毎月1日と15日は電話を利用してもらうよう促すほか、年1回は自宅を訪問し協力員のデータ確認と機器のメンテナンス（電池交換）を実施した。



<通報等の状況> ※県社協受信分を含む

着信状況	件数	対応状況	件数	着信状況	件数	対応状況	件数
緊急ボタン	11件	救急車・協力員要請	2件	停電通報	20件	協力員要請	1件
		その他（誤報など）	9件			【原因】 雷・雪・電力工事・コンセント抜け落ち・ブレーカー関係など	
相談	202件	救急車・協力員要請	1件	その他	6件	故障通報	6件
		定期連絡など	201件			電池切れ	0件

◆配食サービス

(収入) 1,096,200円 - (支出) 834,097円 = 262,103円

※実績に基づき町からの補助金 678,300円

○生活支援サービス事業

18

高齢者及び障がい者等を対象に、保温容器を使用し食事を提供しました。また、安否確認のため手渡しを基本とし、異変があれば関係機関への情報提供を行いました。 ※1食 ⇒ 300円

<補助対象者状況>

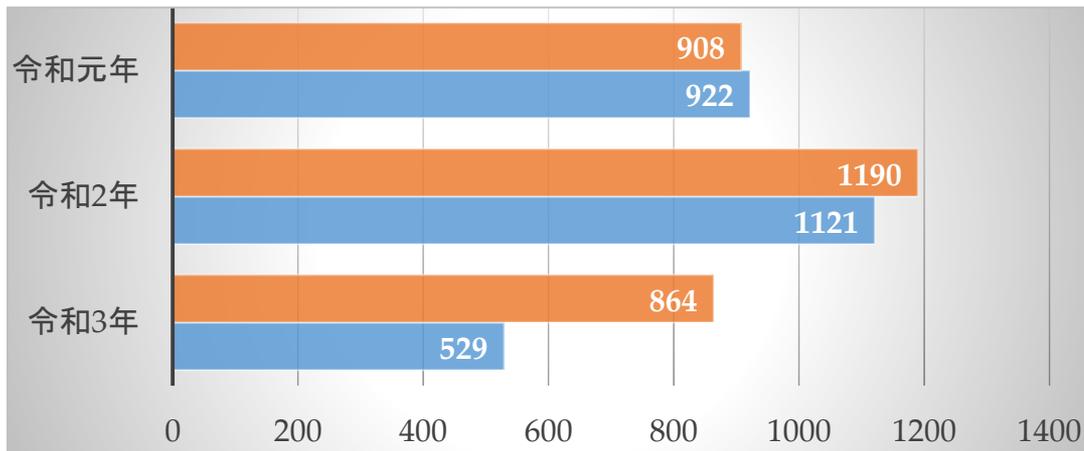
- ・継続者 7名 ・新規者 2名
- ・解約者 2名 (死亡1件・入所1件)
- ・登録者 7名 (3月31日付)

<補助対象外者状況>

- ・継続者 2名 ・新規者 0名
- ・解約者 1名 (入所)
- ・登録者 1名 (3月31日付)

<配達実績>

	昼食	夕食
R1	908食	922食
R2	1,190食	1,121食
R3	864食	529食
差異 (R3-R2)	▲326食	▲592食



【減少理由】

月曜日から金曜日まで昼食・夕食を利用していた方が解約のため

◆その他 (生活困窮者等への配食: 自主事業により町補助対象外)

経済的な困窮により一時的に食事が確保できず、生命の維持に危険性をおよぼす恐れがある方や引きこもりにて安否確認などが必要な方に対し、フードバンク事業と併用し食料の確保や無料で配食を提供する取り組みをしています。

※令和3年度の利用者は0名でしたが、次年度以降も引き続き必要な方へ提供していきます。



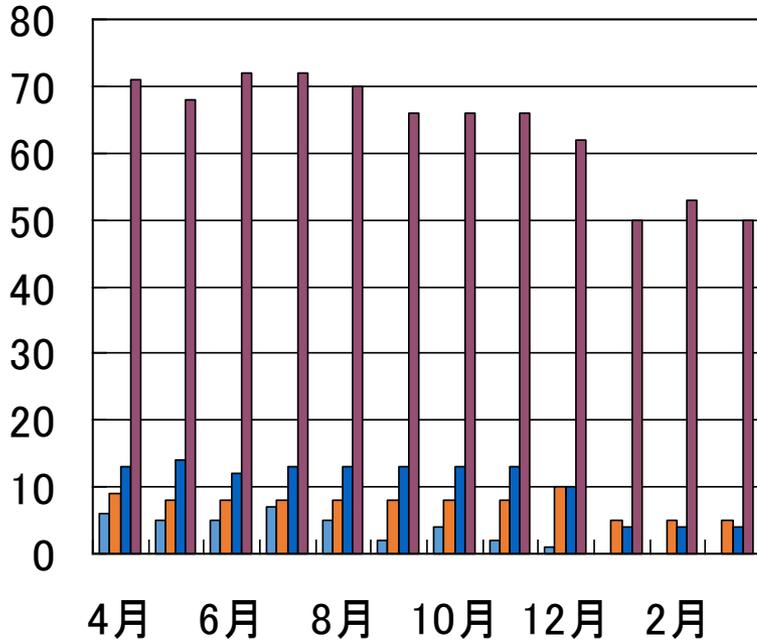
<配達の様子>

《介護保険事業》

◆居宅介護支援事業 (収入) 11,916,190円— (支出) 11,069,105円 = (差額) 847,085円 20

【内容】

在宅で暮らしたい意思を尊重して、在宅生活の中で不足するサービスのマネージメント（調整）を行いました。



	総合事業サービス計画	予防支援サービス計画	要介護サービス計画	要介護認定調査
令和2年度	75件	149件	955件	193件
令和3年度	90件	127件	766件	38件

- 認定調査
- 総合事業
- 介護予防
- 介護給付

【年間延べ計画作成利用者数 906名】
 新規者： 20名（前年より、-16名）
 解約者： 52名（前年より、-24名）
 <理由> 死亡11名・入所15名・事業所変更26名

〈事業所加算について〉
 職員の変更により「特定事業所加算」が変更になりました。
 ①特定事業所加算Ⅱ：1件4,070円 令和3年4月～8月まで算定
 ②特定事業所加算A：1件1,000円 令和3年9月～12月まで算定
 ③特定事業所加算算定なし：令和4年1月～継続中

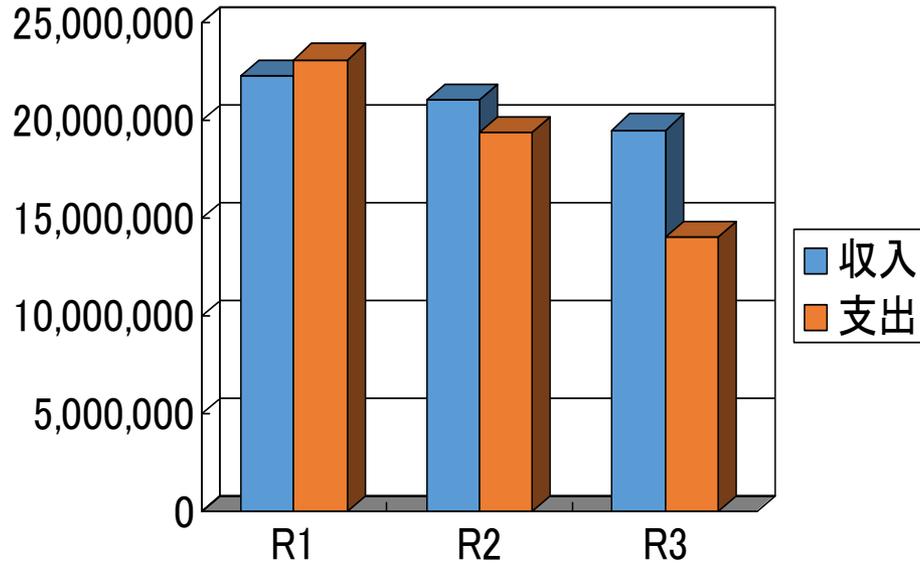
«介護度別件数比較»

(単位：件)	事業対象者	予防支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計数
令和2年度	88	95	329	292	106	92	39	1,041
令和3年度	90	127	252	207	99	103	28	906
差異	+2	+32	-77	-85	-7	+11	-9	-135

◆通所介護事業（地域密着型）

（収入）19,503,927円－（支出）14,038,898円＝（差額）5,465,029円

○送迎・入浴・食事・レクリエーションを通して日常生活動作訓練を実施。（定員18名）



◆年間延べ利用件数：2,586件
（予防：973件・給付：1,613件）

新規者：6名（予防3名・給付3名）

解約者：8名（入所3名・死亡4名・利用中止1名）



☆運営推進会議

委員5名（利用者・家族など）

	第1回	第2回
開催日	令和3年10月28日	令和4年3月22日
参加人数	5名	5名

※第2回会議は新型コロナウイルス感染予防の観点から書面開催となりました。

◆高齢者自立支援デイサービス事業（自主事業）

（収入）94,690円－（支出）43,910円＝（差額）50,780円

要介護状態等への移行の予防するため、公的サービスとは別に契約して通所サービスを提供しました。

新規利用者

1名

解約者

1名

（介護保険へ移行）

現在の利用者

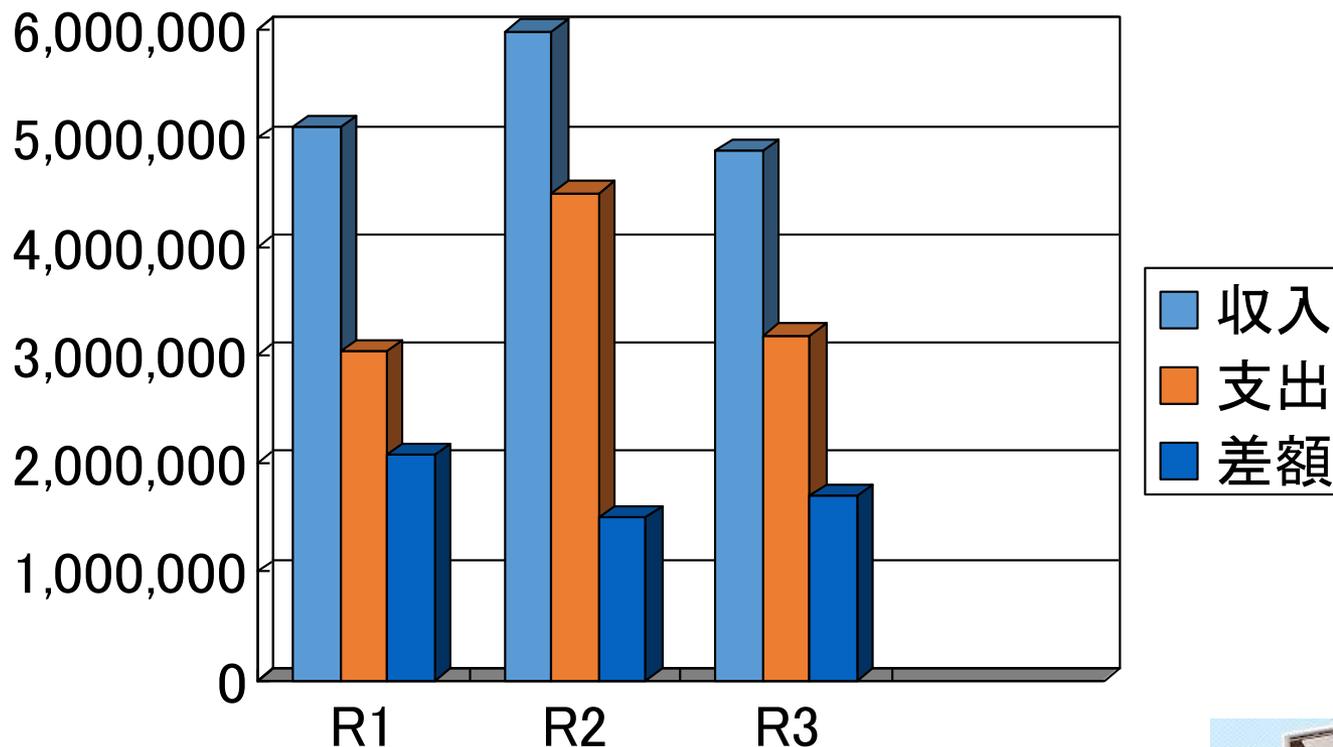
2名

◆福祉用具貸与事業

(収入) 4,880,370円 - (支出) 3,181,832円 = (差額) 1,698,538円

22

※事業活動による支出の大半は、消毒等の作業を外部の業者に委託している委託費の支出。



◆新規：9名 (給付9名)

◆解約：11名 (予防1名・給付10名)

◆年間延べ利用件数：385件 (予防：39件・給付：346件)



《障害者支援事業》

◆障害者自立支援事業 (居宅介護・重度訪問介護・行動援護)

※令和3年度は休止のため実績なし

◆一般相談・指定特定相談支援事業

障がい者からの相談に応じ、必要な助言・情報提供やサービス利用に向けた計画の作成を行いました。

(一般相談支援事業)

件数	0件
----	----

障害施設入所者や精神科病院へ入院している方が、退所・退院し、地域で安心した生活をしていくために関係機関と連携して相談や助言を行う。

(特定相談支援事業)

(収入：101,430円)

福祉サービス利用のために必要な計画を作成する。

利用者	人数
新規利用者数	0名
継続利用者数	2名
合計利用者数	2名

◆地域生活支援事業：委託事業

在宅で生活する障がい者家族の生活を支援し、社会参加の促進を図ることを目的に実施しました。

受託金収入：2,532,335円

事業名	相談支援事業	通学通所支援事業	日中一時支援事業	生活サポート事業
利用者数	0名	0名	7名	2名

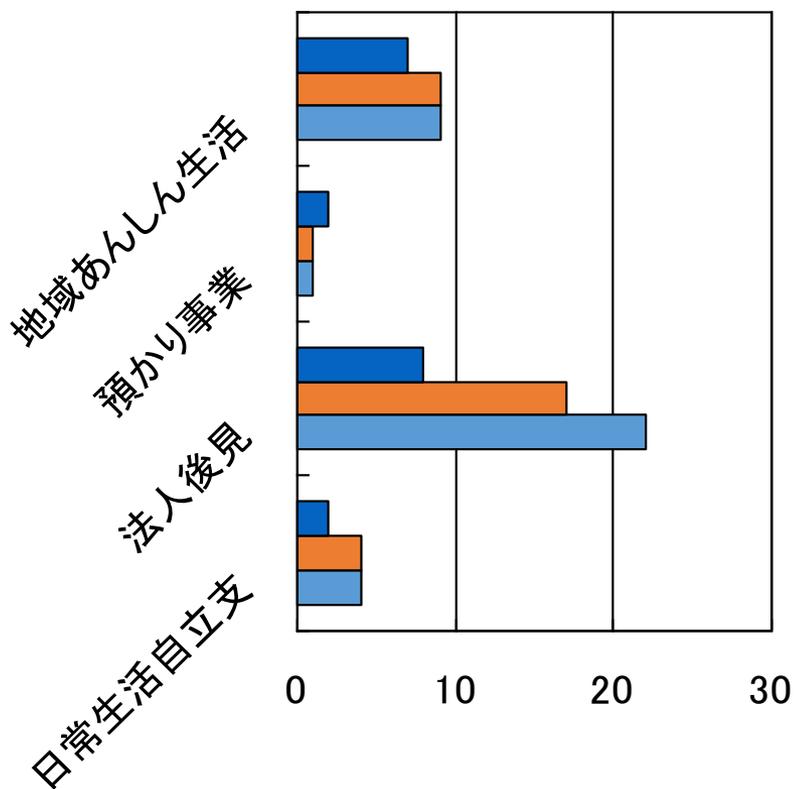
障がい区分	知的	身体
人数	6名	2名

※日中一時支援事業では、24歳から61歳まで幅広い年齢層が利用しているほか、内1名は2つの事業を利用しました。

《在宅福祉事業》

○権利擁護支援が必要な方々が、安心して日常生活が送れるよう相談・支援などを実施しました。

- ①地域あんしん生活保証相談機能（自主事業）
- ②日常生活費預かり事業(自主事業)
- ③法人後見の充実（自主事業）
- ④日常生活自立支援事業の充実（委託事業：青森県社協）※委託料：350,000円



(令和3年度) 地域あんしん生活保証事業
 継続受任件数 9件
 新規受任件数 1件
 終了件数 1件

(令和3年度) 日常生活費預かり事業
 継続受任件数 1件
 新規受任件数 2件
 終了件数 1件

(令和3年度) 法人後見
 継続受任件数 22件
 (後見：16件 保佐：4件 補助：2件)
 新規受任件数 9件
 終了件数 4件

(令和3年度) 日常生活自立支援事業
 継続受任件数 4件
 新規受任件数 1件
 終了件数 (後見事業へ) 1件

☆地域連携ネットワーク構築事業の実施（委託事業：鯉ヶ沢町・深浦町） ※委託料：6,000,000円

○運営協議会の開催（年2回）

●権利擁護センターあじがさわ第1回運営協議会

日時：令和3年6月10日（木）13時30分～

場所：鯉ヶ沢町総合保健福祉センター 会議室

参加者：20名

内容：（1）研修

- ①日常生活自立支援事業と成年後見制度利用促進について
- ②多機関協働（あんしん相談窓口あじがさわ）から権利擁護支援へ



●権利擁護センターあじがさわ第2回運営協議会

日時：令和4年3月29日（火）13時30分～

場所：鯉ヶ沢町総合保健福祉センター 会議室

参加者：18名

内容：（1）研修：事例から学ぶ 鯉ヶ沢町・深浦町の権利擁護支援の取組みについて

- ①中核機関の役割
 - ②深浦町地域包括支援センターの権利擁護支援
～ 1次相談窓口から中核機関へ～
- （2）令和4年度事業計画について

○検討・専門的判断会議の開催（年13回）

●権利擁護センターあじがさわ検討・専門的判断会議

日時：令和3年4月19日（月）13時30分～

場所：鯉ヶ沢町総合保健福祉センター 会議室

参加者：11名

内容：実績報告

モニタリング・バックアップの検討・専門的判断（深浦町4件・鯉ヶ沢町1件）
権利擁護支援の方針について検討専門的判断会議（鯉ヶ沢町1件）

●権利擁護センターあじがさわ検討・専門的判断会議

日時：令和3年5月21日（金）10時00分～

場所：深浦町保健センター 会議室

参加者：7名

内容：実績報告

モニタリング・バックアップの検討・専門的判断（深浦町1件・鯉ヶ沢町1件）
状況報告（鯉ヶ沢町1件）

●権利擁護センターあじがさわ検討・専門的判断会議

日時：令和3年6月23日（水）13時30分～

場所：鯉ヶ沢町総合保健福祉センター 会議室

参加者：6名

内容：実績報告

モニタリング・バックアップの検討・専門的判断（鯉ヶ沢町1件）
権利擁護支援の方針についての検討・専門的判断（深浦町1件）

●権利擁護センターあじがさわ検討・専門的判断会議

日時：令和3年7月26日（月）10時00分～

場所：深浦町フィットネスプラザ「ゆとり」多目的ホール

参加者：7名

内容：実績報告

モニタリング・バックアップの検討・専門的判断（深浦町1件・鯉ヶ沢町3件）

- 権利擁護センターあじがさわ検討・専門的判断会議
日 時：令和3年8月16日（月）13時30分～
場 所：鰯ヶ沢町総合保健福祉センター会議室
参加者：11名
内 容：実績報告
 モニタリング・バックアップの検討・専門的判断（鰯ヶ沢町1件）
 権利擁護支援の方針について検討・専門的判断（深浦町1件・鰯ヶ沢町1件）
 法人後見実施についての協議
- 権利擁護センターあじがさわ検討・専門的判断会議
日 時：令和3年10月27日（水）13時30分～
場 所：鰯ヶ沢町総合保健福祉センター会議室
参加者：9名
内 容：実績報告
 モニタリング・バックアップの検討・専門的判断（深浦町1件・鰯ヶ沢町1件）
- 権利擁護センターあじがさわ検討・専門的判断会議
日 時：令和3年12月10日（金）13時30分～
場 所：鰯ヶ沢町総合保健福祉センター会議室
参加者：10名
内 容：実績報告
 モニタリング・バックアップの検討・専門的判断（鰯ヶ沢町1件）
 権利擁護支援についての検討・専門的判断（深浦町3件）
 成年後見利用支援事業についての勉強会
- 権利擁護センターあじがさわ検討・専門的判断会議
日 時：令和4年1月25日（火）13時30分～
場 所：Zoomを利用したオンライン会議
参加者：8名
内 容：実績報告
 モニタリング・バックアップの検討・専門的判断（深浦町2件・鰯ヶ沢町3件）
 権利擁護支援の方針についての検討・専門的判断（深浦町2件・鰯ヶ沢町2件）
- 権利擁護センターあじがさわ検討・専門的判断会議
日 時：令和3年9月29日（水）13時30分～
場 所：Zoomを利用したオンライン会議
参加者：6名
内 容：実績報告
 権利擁護支援の方針についての検討・専門的判断（鰯ヶ沢町2件）
- 権利擁護センターあじがさわ検討・専門的判断会議
日 時：令和3年11月24日（水）10時00分～
場 所：深浦町保健センター 会議室
参加者：7名
内 容：実績報告
 モニタリング・バックアップの検討・専門的判断（深浦町1件）
 権利擁護支援の方針について検討・専門的判断（深浦町1件）
 状況報告（深浦町2件・鰯ヶ沢町2件）
- 権利擁護センターあじがさわ検討・専門的判断会議
日 時：令和3年12月21日（火）14時00分～
場 所：鰯ヶ沢町総合保健福祉センター会議室
参加者：7名
内 容：実績報告
 権利擁護支援についての検討・専門的判断（鰯ヶ沢町1件）
 被保佐人の代理権・同意見についての協議

○検討・専門的判断会議の開催状況

●権利擁護センターあじがさわ検討・専門的判断会議

日時：令和4年2月24日（金）13時30分～

場所：Zoomを利用したオンライン会議

参加者：7名

内容：実績報告

モニタリング・バックアップの検討・専門的判断

（深浦町1件・鯉ヶ沢町3件）

権利擁護支援の方針について検討・専門的判断

（深浦町1件・鯉ヶ沢町1件）



●権利擁護センターあじがさわ検討・専門的判断会議

日時：令和4年3月18日（金）10時00分～

場所：Zoomを利用したオンライン会議

参加者：8名

内容：実績報告

モニタリング・バックアップの検討・専門的判断

（深浦町3件・鯉ヶ沢町6件）

権利擁護支援の方針についての検討・専門的判断

（鯉ヶ沢町2件）

鯉ヶ沢町外に在住の地域あんしん保証事業利用者の交通費
についての協議



◆令和3年度研修会開催状況

権利擁護支援の地域連携ネットワークを構築し、判断能力が不十分な方や身寄りがなく将来に不安を抱えている方等、権利擁護支援を必要とする人を早期に発見し適切に必要な支援につなげられるように、相談体制の充実を図る事を目的に研修会を開催しました。

年月日	テーマ	対象	参加人数	開催地
7月7日	権利擁護支援と成年後見制度の概要	社会福祉法人はくしん会	9名	深浦町
7月16日	権利擁護支援研修会	グループホーム連絡会	8名	鱈ヶ沢町
7月21日	同上	ケアマネ連絡会	11名	鱈ヶ沢町
8月4日	権利擁護支援と成年後見制度の概要	社会福祉法人治省会	15名	深浦町
8月5日	権利擁護支援研修会	施設相談員等連絡会	7名	鱈ヶ沢町
8月25日	権利擁護支援と成年後見制度の概要	社会福祉法人西寿会	13名	深浦町
11月4日	成年後見制度について	深浦町生活お助け隊	30名	深浦町
11月25日	権利擁護支援について	深浦町地域ケア会議	13名	深浦町

<全8回開催 延べ106名参加>

研修終了後のアンケート結果

- ・1度の研修で理解できる訳ではないので、また、研修会をやって欲しい。
- ・ケアマネ業務で、一人暮らしや高齢者世帯の方を担当しているので、今後制度の利用が必要になると思うので役立つ研修でした。
- ・制度についてある程度知識はあったが、事例を交え詳しい内容を聞くことができて良かった。是非、2回目をお願いします。
- ・親族が遠方に住んでいる方が多く、コロナ禍で緊急時や死亡した際の対応が難しくなっていると感じています。制度の利用だけでなく、施設の方でも対応方法を考えていく必要があると感じました。
- ・実例を中心にした研修をして欲しい。

(原文)



◆生活福祉資金 (青森県社会福祉協議会からの事務委託)

低所得世帯等に対して、他からの借入が困難で償還可能で自立が見込まれる世帯を対象に貸付を行いました。

資金名(内容)	申込件数
総合支援資金(失業者に対して生活再建までの間に必要な生活費等)	0件
福祉資金(生業、就職、技能取得等に必要な経費等)	
教育支援資金(高校、大学、高専に修学するために必要な経費等)	
不動産担保型生活資金(一定の居住用不動産を有しその住居に住み続ける高齢者世帯への生活資金)	
緊急小口資金特例貸付(新型コロナウイルス感染症の影響により収入減少があった世帯への生活資金:上限20万)	6件
総合支援資金特例貸付(新型コロナウイルス感染症の影響により生活に困窮した世帯への生活資金) 令和3年度で終了(注1)	1件

(注1) 上限:2人以上世帯月20万以内・単身世帯月15万以内 貸付けは3ヶ月分まで

◆たすけあい資金

低所得世帯等に対して、世帯の更生に必要な資金の貸付を行うことにより経済的自立の助長を図るため貸付を行いました。

・貸付状況<過年度分含>

(償還運動(年2回):文書通知・訪問など)

資金種類	R3申込件数	R3貸付金額	貸付残額	R3償還金額	残件数	残額
①生活資金	1件	37,200円	167,200円	6,200円	2件	161,000円
②支度資金	0件	0円	319,000円	0円	3件	319,000円
③医療資金	0件	0円	148,000円	0円	2件	148,000円
④職員資格取得資金	0件	0円	0円	0円	0件	0円
合計	1件	37,200円	634,200円	6,200円	7件	628,000円

①~③貸付額:50,000円まで(1年以内の償還)

④貸付額:200,000円まで(2年以内の償還)

令和3年度末
貸付残高 628,000円
(597,000円) ()内はR2年度

○自主事業○

◆外出支援サービス事業

通院及び転院・施設からの帰省など、公共の交通手段での移動が困難な方への支援を行いました。

○料金：時間制運賃（小型）15分1240円（大型）1750円※障がい手帳等所持者1割引き○

令和3年度	2件
-------	----

◆生活支援サポート派遣事業

○料金：10分（200円）×1時間（1,000円）×15分毎（350円）○

介護保険等のサービスで対応できない方に独自の事業として、在宅生活の維持を目的とした取り組み。

令和3年度	1件
-------	----

◆車椅子貸与事業

プラタブで交換して得た車椅子を無料で貸与しました。（最長1ヶ月）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
貸出件数	0	0	0	1	1	1	0	3	2	0	0	1	9

◆福祉有償運送運転者講習

○受講料：12,000円（参加費収入：72,000円）

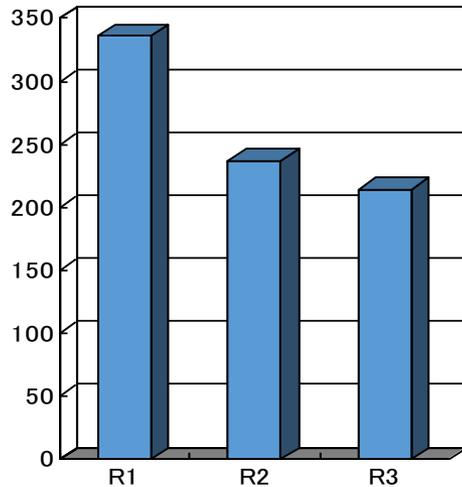
普通1種免許所持者が旅客運送（介護輸送）を行う場合に必要
な講習会（国土交通省認定）を実施しました。



日付	人数
4月17日（土）	6名

◆ボランティア関係事業

年度	R1	R2	R3
数量	336Kg	237Kg	214Kg



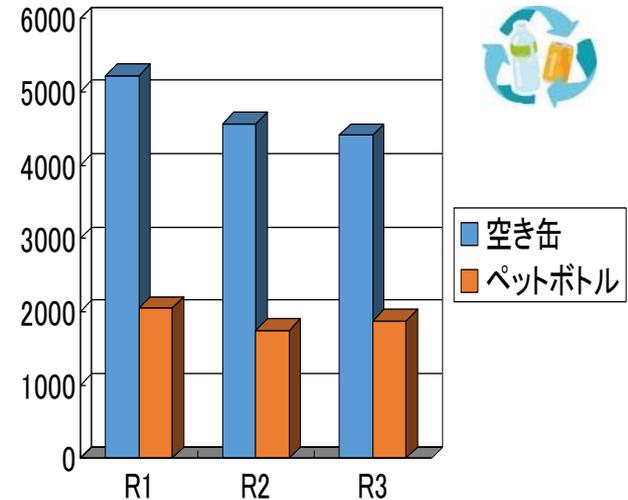
■プルタブ



(プルタブ750kg⇔車椅子1台)

- ・プルタブ協力延べ人数：62名 32団体
- ・古切手回収協力延べ人数：7名 12団体

○令和3年度：古切手回収量(1.6kg)



■空き缶
■ペットボトル

<令和3年度>

空き缶：4,410Kg ペットボトル：1,870Kg

売上金 154,210円 (税込) /年間

○イベント募金の実施

10月2日(土) 11月8日(月)に、海の駅わんど前にて1時間程度、街頭募金を行いました。今回はコロナ禍ということもあり、社協職員のみでの実施となりました。



2日間の合計寄付額：29,288円



○ボランティア団体等の支援

申請のあった地域の福祉団体に対し、活動費の助成を行いました。
【1団体30,000円まで】
申請団体：1件
助成先：鯉ヶ沢町身体障害者福祉会

- ・総合保健福祉センター管理・経営など
- ・社会福祉協議会の基盤整備強化
- ・役員・評議員等研修会
- ・第5次鯉ヶ沢町地域福祉活動計画の策定

【団体事務】

- ・西津軽郡社会福祉協議会
- ・鯉ヶ沢町老人クラブ連合会
- ・鯉ヶ沢町身体障害者福祉会

◆福祉センター貸館状況（有料）

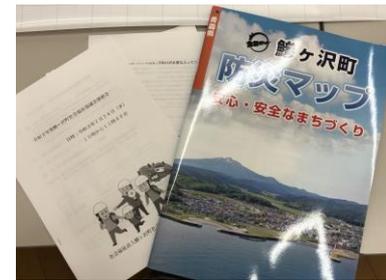
使用月	4月	6月	7月	8月	10月	11月	12月	1月	3月	総数
使用団体数	1	3	2	2	2	1	2	1	2	16団体
利用者数	10	51	17	34	22	18	14	8	34	208名

◆社会福祉協議会の基盤整備強化

「社会福祉協議会連絡会議の開催」

『防災と見守り』をテーマに役員、支部等の相互の交流や関係機関との情報共有の場として連絡会議を開催しました。

開催月日	内容	講師他	参加者数
令和3年4月26日（火）	自助と共助の大切さ	青森県防災士会	12名
令和3年5月25日（火）	自分の命は自分で守る	鯉ヶ沢町社会福祉協議会長	10名
令和3年7月28日（水）	ハザードマップの活用方法・手助けが必要な人って	鯉ヶ沢町防災班・福祉班	15名



◆役員等研修会の開催

基盤強化を図るため評議員を対象、評議員勉強会を開催。

開催月日	内容	参加者数 (総数15名)
令和3年10月26日(火)	1 評議員・評議員会の役割 2 事業紹介 	14名

◆第5次鱒ヶ沢町地域福祉活動計画書の策定

「地域福祉活動計画」は、社会福祉協議会が中心的な役割を果たし地域福祉の推進を目指す具体的な活動を示したもので、「第2次鱒ヶ沢町地域福祉計画」と協同で策定しました。

アンケートの実施	一般(520名:内訳 高齢者170名・子育て世代100名・その他 250名) 中学生(170名) 企業(40社) 施設(4社)
第1回策定委員会	令和3年10月6日(水) 第5次鱒ヶ沢町地域福祉活動計画について説明
第2回策定委員会	令和3年12月23日(木) 第4次鱒ヶ沢町地域福祉活動計画評価についてなど
第3回策定委員会	令和4年3月25日(金) 第5次鱒ヶ沢町地域福祉活動計画(案)の決定について

○計画の基本理念「笑顔あふれる住みよい福祉のまちづくり」

第5次鱒ヶ沢町地域福祉活動計画

← 統合・連携 →

第2次鱒ヶ沢町地域福祉計画

◆ 団体事務

◆ 西津軽郡社会福祉協議会（広域事業）

深浦町社協と協働で、広域的に住民の福祉意識を高めることを目的に実施しました。

○ふれあい交流広場（愛の輪レクリエーション：県社協指定事業）

※活動自粛により未実施

◆ 鯉ヶ沢町老人クラブ連合会事務

町内単位老人クラブ（22ヶ所）と連合会事業を通じて連携を図りました。

◆ 鯉ヶ沢町身体障害者福祉会事務

町内の障害者福祉団体の運営支援